

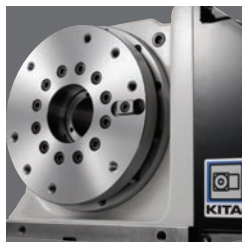
第102期 株主通信

平成23年4月1日～平成24年3月31日

kitagawa



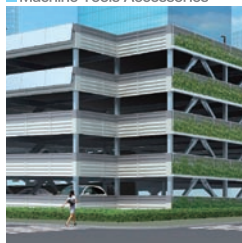
■ Synthetic Material



■ Machine Tools Accessories



■ Industrial Machinery



■ Parking System

証券コード:6317



株式
会社

北川鉄工所

www.kiw.co.jp/

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より、格別のご支援を賜わり、有難く厚くお礼申し上げます。

当社グループは平成24年3月31日をもちまして第102期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)が終了いたしましたので、当連結会計年度の事業概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の直接的、間接的な影響により企業活動が停滞せざるをえない状況に陥るなどの深刻な影響が出ましたが、被災企業の努力により急速な復旧がはかれ、経済全体が持ち直してまいりました。一方で、タイでの洪水発生による日系企業の現地生産の停滞や欧州の債務信用不安からの急激な円高、インド、中国の金融引締政策、原油価格の高止まりなどにより、先行きの不透明感が一層強まってまいりました。

当社の関連業界におきましては、震災の影響により自動車業界を中心に一時生産が停滞するなどの影響が出ましたが、6月頃から市場全体が急速に復旧しました。設備投資についても緩やかに回復しつつありますが、力強さに欠ける状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは海外向け販売局面に若干の陰りがみえたものの、新興国向けの需要が牽引役となり、金属素形材事業、工機事業の売上高、営業利益とも、堅調に推移しました。内需中心の産業機械事業、駐車場

事業につきましては、震災復興関連の受注が入り始めたものの依然として厳しい状況でありコスト改善や生産効率の向上等に取り組み、収益拡大に努めてまいりました。

当期の配当につきましては、1株当たり2円とさせていただきます。

経営成績の概要

(単位:百万円)

	第101期	第102期	増減
売上高	37,679	42,465	4,786
セグメント内訳			
金属素形材	16,905	18,488	1,583
工機	8,054	10,087	2,033
産業機械	6,791	7,154	363
駐車場	5,928	6,735	807
営業利益	1,107	1,368	261
セグメント内訳			
金属素形材	1,031	1,106	75
工機	872	1,413	541
産業機械	719	795	76
駐車場	457	102	△355
全社費用	△1,972	△2,050	△78
経常利益	1,343	1,563	220
当期純利益	1,979	824	△1,155

注) セグメント別の業績は、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」に基づいて算出しており、前年同期の実績値、増減額及び増減率についても、同会計基準に基づいて組み替えて、算出しています。

今後の見通しにつきましては、若干の陰りは見えるものの引続き中国を始めとする外需の好調に支えられ堅調に推移すると思われます。しかしながら、欧州の債務信用不安による円高の長期化に加え、企業の海外移転・現地生産の加速、安価な新興国の製品へのマインドシフトなどが懸念されます。

また、電力や原油などのエネルギー価格の高騰、鋳物材料や鋼材などの原材料価格の高騰が懸念され、先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

このような状況のなか、当社グループは国内工場の生産効率、品質管理を高めるとともに、引続き経費削減などのあらゆるコストダウンに努め、原材料費の価格動向に注視し、調達先の選定、適正価格の調達力の強化をはかることにより収益の確保を必達目標として事業を展開してまいります。また、本年より中国現地での工作機器生産の開始をはじめるとともに、メキシコにおいては金属素形材事業の工場建設に着手するなど、海外生産拠点の強化に注力し、当社製品ブランドのグローバル展開を推進いたします。なお、平成24年度より、産業機械事業部と立体駐車場事業部を統合し、シナジー効果を高め、より一層の収益改善に努めてまいります。

従いまして、次期(平成25年3月期)の業績予想につきましては、売上高は 42,500百万円、経常

利益は 1,500百万円、当期純利益は 1,000百万円を見込んでおります。

当社グループは、平成24年度を「Next Decade Plan2021」のスタートの年として、「利益重視への体質改善」、「新商品開発への軌道化」、「事業再編の効果的実施」、「海外子会社への全面的支援」、「生産力の向上」を当社グループの直面する重点的課題としてとらえ、経営基盤の強化に努めてまいります。

株主の皆様には引続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永く愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

平成24年6月



代表取締役社長 北川祐治

トピックス

メキシコに生産子会社を設立

メキシコ合衆国の中央部に位置するアグアスカリエンテス州に鑄鉄鑄物の製造および加工を事業内容とした生産拠点を新設いたします。

法人名称:KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.

所在地:メキシコ合衆国アグアスカリエンテス州PILA工業団地

代表者:北川 祐治

投資額:65億円

資本金:2,500万ドル

事業内容:自動車部品用等の鑄鉄鑄物の製造および加工

生産開始:平成25年4月(予定)

販売計画:30億円(平成27年投資完了後見込み)

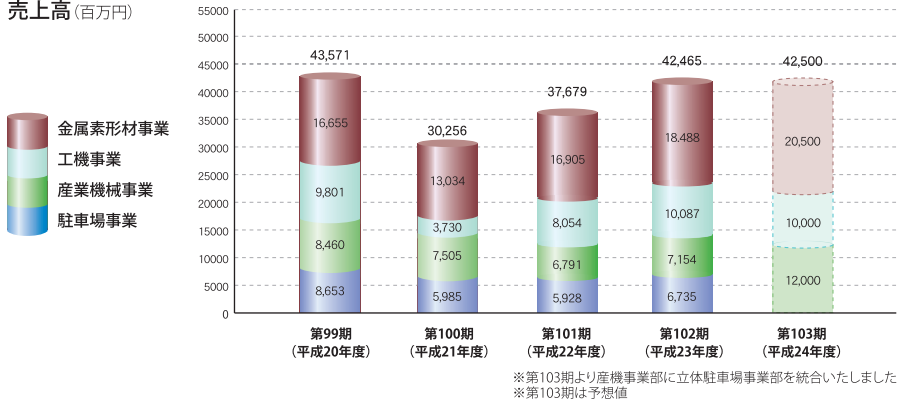
北米・中南米市場における自動車生産は今後も増加する傾向にあり、自動車部品に対するニーズにつきましてもさらに高まることが予想されます。当社は既に生産拠点を国内とタイ国に配置しておりますが、今後もメーカーに近いところでの生産が重要と判断し、北米・中南米市場における各自動車メーカーからの受注拡大を目指し進出を決定いたしました。



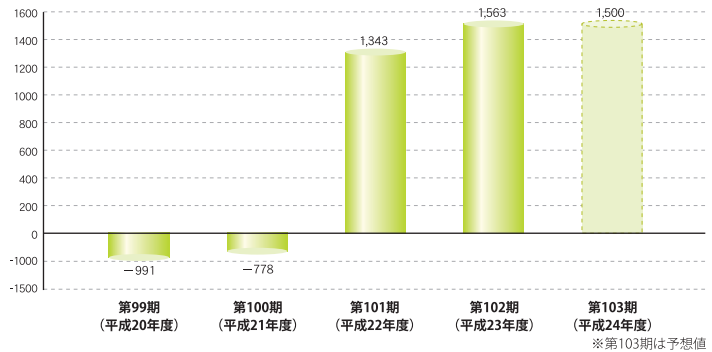
完成イメージ

連結決算の概要

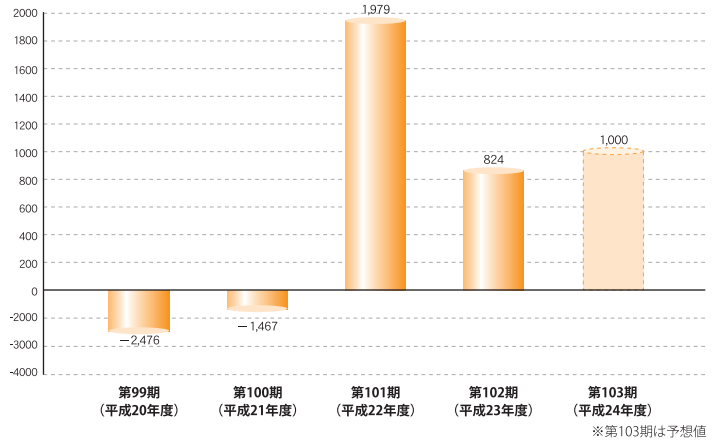
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)



セグメント別の概況

金属素形材事業 Synthetic Material

単位：百万円

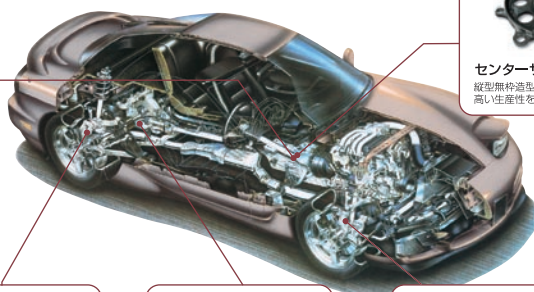
	第101期	第102期	対比
売上高	16,905	18,488	9.4%増
営業利益	1,031	1,106	7.3%増



オイルポンプカバー
切削性の高い新材料を使って、お客様のニーズにお応えしています。



センターサポート
縦型無種造型機の特性を駆使して、高い生産性を実現しました。



アーム
軸足回りを連結し、かつ上下方向の衝撃を緩和します。



デフケース
金型精度アップにより、取代削減と重量削減を可能にしました。



ナックル
アームとナックルサポートを一体化しました。

金属素形材事業の主な事業分野は自動車、建設機械、農業機械となります。自動車事業分野につきましては、東日本大震災の影響により期初において大幅な受注の減少がありましたが、6月以降各社サプライチェーンが回復すると同時に受注も増加いたしました。タイの洪水に関しては直接の被害もなく、洪水の復旧後は東南アジアをはじめとする新興国での需要も回復し、当事業の主要製品であるミッション部品も高い受注数量を維持しました。また、10月に生産を開始した新規の自動車部品についても、販売好調を受けて高水準の受注で推移しました。

建設機械分野につきましては、新興国需要、東日本大震災復興需要、建設機械エンジンの

排ガス規制(Tier4)移行前の駆込み需要等により好調に推移してまいりましたが、昨年秋からの中国での金融引き締めによる経済成長鈍化により、今年に入ってからには需要が低下しております。

農業機械分野につきましては、国内需要は見込めませんが、アジア市場が堅調に推移し、現状を維持しております。

このような状況のなか、当事業におきましては既存製品のモデルチェンジや派生品の取込みを進め既存顧客のインシェア拡大と、新規アイテム、新商品の開発に力を入れて新規顧客や新規部品の受注拡大を図るとともに、生産効率を高めてまいりました。

事業内容

生型 casting・ロストワックス精密 casting・エバフォーム casting・MIM焼結品及び鋳物素材をベースとした機械加工品および組立完成品(自動車部品、各種機械部品)

工機事業

Machine Tool Accessories

社団法人日本工作機械工業会の発表により、まずと平成23年の工作機械の受注額は、1兆3,200億円強(前年比 35.5%増)となり、全体として東日本大震災、タイでの洪水、欧州の債務信用不安、超円高を記録した1年にもかかわらず、工作機械の需要が伸びた1年となりました。

工作機械の需要は、平成23年下半期には若干鈍化しましたが、日本市場においては後半、自動車業界の生産の回復もあり、受注が回復してまいりました。海外市場におきましては、欧州の信用不安や中国・インドの金融引締政策、タイでの洪水によるサプライチェーンの分断による自動車業界をはじめとする製造業の操業停止により、一部売上、受注に影響があったものの、一方ではIT機器関連での大型特需もあり、売上、受注が大きく伸びた分野もありました。

また円高の長期化により安価な韓国、台湾、中国の製品購入へとマインドがシフトしてきており、日本製品離れが深刻化してきています。

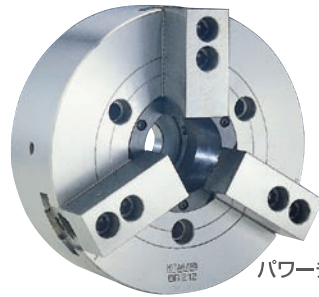
このような状況のなか、当事業におきましては、当事業製品も新興国との競合激化に対処

すべく、標準的な製品については、コスト低減、生産効率の向上に取り組み市場シェアを維持してまいりました。特殊、大型案件につきましては提案技術力や生産効率を高め、収益を確保、向上させるための施策を実行し受注に繋げてまいりました。

また、世界的に不安定な市場環境に対処するために、効率的な生産設備ラインの構築、生産方式の再検討によるコスト低減、生産能力強化、海外調達促進による収益の確保を図ってまいりました。更に、お客様が求める製品開発に積極的に対応することで、市場シェアおよび認知度を高める施策を推し進めてまいりました。

単位：百万円

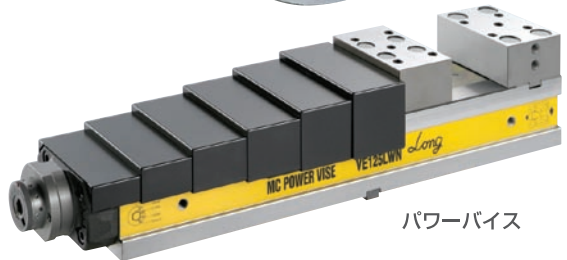
	第101期	第102期	対比
売上高	8,054	10,087	25.2%増
営業利益	872	1,413	62.0%増



パワーチャック



NC円テーブル



パワーバイス

事業内容

旋盤用チャック、油圧回転シリンダ、NC円テーブル、パワーバイス、ワークグリッパ、グリッパ

セグメント別の概況

産業機械事業 Industrial Machinery

国内建設業界を取り巻く状況で、公共事業については東日本大震災による各地方自治体の予算執行の遅れが目立ち、また、民間については、急激な円高による国内設備投資の抑制の煽りを受け、厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当事業のコンクリートプラント関連につきましては、設備過多の解消に向け業界全体での集約が進められており、設備更新についても低調な状況が続いたことから、引続き設備の改造、メンテナンス工事に注力することで、収益の維持に努めてまいりました。

環境機械関連におきましては、震災復興の瓦礫処理関係の遅れにより受注が伸び悩みました。

建設機械関連につきましては、震災後、一時的な市場停滞がありましたが、年間を通して安定的な売上を確保することができました。

ウォーターカッターやライトマシニングなどの特機関連につきましては、航空機、自動車を中心とした高付加価値材を加工する機械として好調を維持したものの、歴史的な円高により、造船業を中心とした一部の業界では空洞化が進み、受注が伸び悩みました。

単位：百万円

	第101期	第102期	対比
売上高	6,791	7,154	5.3%増
営業利益	719	795	10.6%増



▲コンクリートプラント



モバイル型
リサイクルプラント「ベレック」▲

事業内容

コンクリートプラント、コンクリートミキサ（商品名：ジクロス等）、環境関連設備（商品名：ペレグイヤー等）、リサイクルプラント（商品名：セレスター等）、建築用ジブクレーン（商品名：ビルマン）

駐車場事業 Parking System

単位：百万円

	第101期	第102期	対比
売上高	5,928	6,735	13.6%増
営業利益	457	102	77.7%減

国内建設市場は、東日本大震災の影響により停滞していた生産活動が回復に向けて動き始めるなど復興需要がみられたものの、海外景気の減速や円高等の影響による先行き不透明感が高まるなか、民間設備投資が慎重となり、厳しい状況が続きました。立体駐車場市場においても低調な水準に留まり、受注競争は一段と激化し、より一層厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当事業は事業クオリティを高めるための安全管理の強化、コスト

管理の徹底、高付加価値商品の実現、現場責任者などの人材育成を基本方針として収益の向上に取り組んでまいりました。また、店舗併用型等の大型物件の受注による工事高の確保や、ロングスパン型新商品の投入による商品ラインナップの充実を図り、業績の向上に努めてまいりました。しかしながら、予想以上に他メーカーとの価格競争が激しく、利益率の低下から営業利益が前期実績を大きく下回りました。



▲自走式立体駐車場



▲施設併用立体駐車場

事業内容

自走式立体駐車場（商品名：アスペル）

財務諸表

連結貸借対照表

区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)		当事業年度 (平成24年3月31日)		区 分	前事業年度 (平成23年3月31日)		当事業年度 (平成24年3月31日)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
資産の部					負債の部				
流動資産	30,320	62.8	29,343	60.6	流動負債	16,831	34.8	17,128	35.4
固定資産	17,972	37.2	19,051	39.4	固定負債	11,022	22.8	10,333	21.4
有形固定資産	14,211		15,067		負債合計	27,853	57.6	27,461	56.7
無形固定資産	289		339		純資産の部				
投資その他の資産	3,471		3,645		株主資本	20,215	41.8	20,846	43.1
					その他包括利益累計額	173	0.4	80	0.2
					少数株主持分	49	0.1	6	0.0
					純資産合計	20,439	42.2	20,933	43.3
資産合計	48,293	100.0	48,395	100.0	負債純資産合計	48,293	99.8	48,395	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

区 分	前事業年度 (自 平成22年4月 1 日 至 平成23年3月31日)		当事業年度 (自 平成23年4月 1 日 至 平成24年3月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	37,679	100.0	42,465	100.0
売上総利益	6,071	14.3	6,732	15.9
営業利益	1,107	2.6	1,368	3.2
経常利益	1,343	3.2	1,563	3.7
税金等調整前当期純利益	1,275	3.0	1,440	3.4
当期純利益	1,979	4.7	824	1.9

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュフロー計算書 (要約版)

(単位: 百万円)

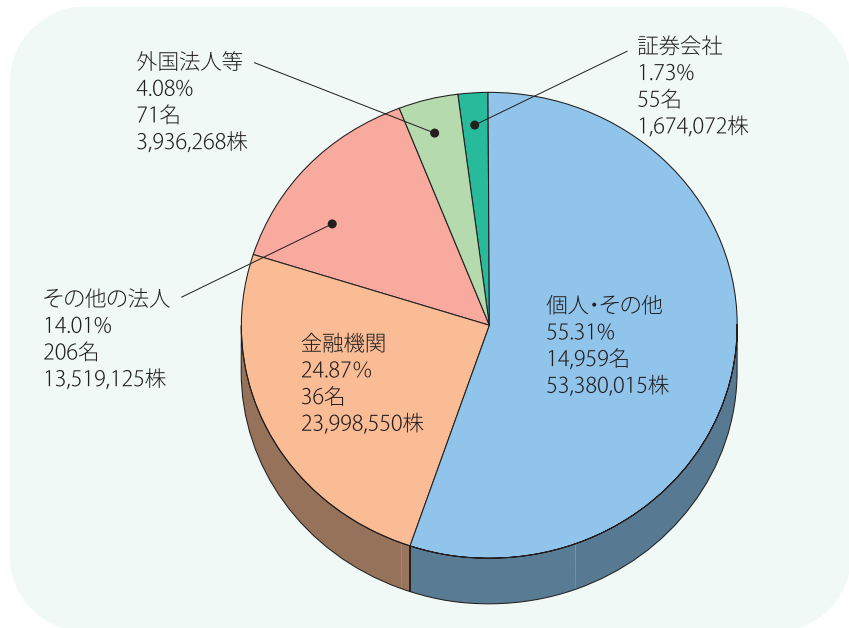
	前連結会計年度 平成22年4月 1 日 から 平成23年3月31日まで	当連結会計年度 平成23年4月 1 日 から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュフロー	2,860	2,689
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,478	△ 2,677
財務活動によるキャッシュフロー	△ 646	△ 1,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△ 28
現金及び現金同等物の増減額	743	△ 1,115
現金及び現金同等物の期首残高	10,032	10,775
現金及び現金同等物の期末残高	10,775	9,660

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

株式の状況 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	308,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	96,508,030株
株主数		15,327名

株式分布



大株主株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
北川鉄工所みのり会	4,503	4.71
株式会社広島銀行	4,460	4.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,761	3.93
みずほ信託銀行株式会社	2,300	2.40
朝日生命保険相互会社	1,713	1.79
株式会社損害保険ジャパン	1,620	1.69
北川鉄工所自社株投資会	1,584	1.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,516	1.58
株式会社みずほ銀行	1,275	1.33
北川祐治	1,242	1.30

* 持株比率は自己株式 (839,902株) を控除して計算しております。

会社の概況 (平成24年3月31日現在)

設 立

昭和16年11月28日

資 本 金

86億4千万円

従業員数

1,122名

Network

海外関係会社

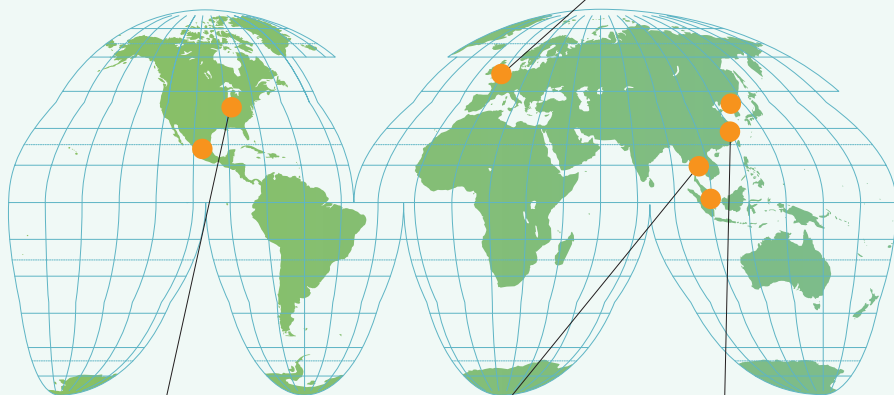
KITAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.
KITAGAWA-NORTHTECH INC.
KITAGAWA EUROPE LTD.
上海北川鉄社貿易有限公司
北川(瀋陽)工業機械製造有限公司
KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.

海外支店

シンガポール支店



KITAGAWA EUROPE LTD.



KITAGAWA-NORTHTECH INC.



KITAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.



上海北川鉄社貿易有限公司

役員 (平成24年6月22日現在)

代表取締役社長	北川 祐治
代表取締役副社長	北川 宏
取締役 常務執行役員	福永喜久男
取締役 執行役員	北川日出夫
取締役 執行役員	佐藤 靖

取締役 執行役員	小川 民益
取締役 執行役員	宇田 育造
常勤監査役	河村 光二
監査役(独立役員)	武田 康裕
監査役	内田 雅敏

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

国内関係会社

北川冷機株式会社
株式会社吉舎鉄工所
株式会社北川製作所

工場

本社工場	甲山工場
本山工場	東京工場
下川辺工場	和歌山工場
中須工場	福山工場

支店

東京事業所	大阪支店
東京支店	広島支店
名古屋支店	九州支店

営業所

札幌営業所
仙台営業所
新潟営業所
四国営業所



本社・本社工場
Head Office・Main Plant



福山工場
Fukuyama Plant



東京工場 Tokyo Plant
東京支店 Tokyo Branch Office



東京事業所
Tokyo Office



大阪支店
Osaka Branch Office



和歌山工場
Wakayama Plant



名古屋支店
Nagoya Branch Office

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から毎年 3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

剰余金の配当基準日 3月31日

単元株式数 1,000株

**単元未満株式の
買取及び買増** 単元未満株式(1株~999株まで)の買取及び買増のご請求は下記のお取扱店でお取扱いいたします。単元未満株式を証券会社の口座に振替えられた株主様はお取引の証券会社にて取扱いいたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法 ホームページに電子公告しますが、やむを得ない事由によって電子公告出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。
アドレス <http://www.kiw.co.jp/>

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

あの頃と、変わらない気持ちで、
いつもお客様のために心を込めて。



おかげさまで、70年。

～これからも歩みを止めることなく、次なる新たな一歩を踏み出します～

当社は1941年11月28日に創立して以来、数多くの困難のなか、

株主の皆様をはじめ多くの方々のご支援を賜わり、

昨年70年の節目を迎えることができました。

当社はこれからも、より確かな技術と価値を提供できるよう努めてまいります。


 **kitagawa** **株式会社 北川鉄工所**
KITAGAWA IRON WORKS CO.,LTD.

〒726-8610 広島県府中市元町77-1
77-1, Motomachi, Fuchu-shi, Hiroshima, 726-8610 Japan
Tel. (0847) 45-4560 (代) Fax. (0847) 45-0589

■営業拠点

仙 台	仙台市若林区大和町4-15-13	〒984-0042	Tel. (022) 232-6732 (代)	Fax. (022) 232-6739
東 京	さいたま市北区吉野町1-405-1	〒331-9634	Tel. (048) 666-5650 (代)	Fax. (048) 663-4678
	東京都台東区元浅草2-6-6 東京日産台東ビル8階	〒111-0041	Tel. (03) 3844-7101 (代)	Fax. (03) 3844-7134
名古屋	名古屋市中川区高畑1-238 エスパスアンビル4階	〒454-0911	Tel. (052) 363-0371 (代)	Fax. (052) 362-0690
大 阪	大阪市住之江区北加賀屋3-2-9	〒559-0011	Tel. (06) 6685-9065 (代)	Fax. (06) 6684-2025
広 島	広島市南区東雲本町2-13-21	〒734-0023	Tel. (082) 283-5133 (代)	Fax. (082) 285-8830
九 州	福岡市博多区板付7-6-39	〒812-0888	Tel. (092) 501-2102 (代)	Fax. (092) 501-2103

インターネット上で、いつでも最新のキタガワ情報をご覧いただけます

[http:// www.kiw.co.jp /](http://www.kiw.co.jp/)